



山口県立山口図書館ニュース

～開設120周年・建築50周年記念版～

山口県立山口図書館は、1903年（明治36年）に開設しました。2023年（令和5年）の今年、開設120年の節目を迎えます。また、現在の建物は、1973年（昭和48年）の開館から今年で50年を迎えます。

このことを記念して、7月1日から12月27日までの半年間、記念事業を実施しています。

記念行事

●干支とクリスマスの版画教室

・日 時

第1回：11月23日（木・祝日）

第2回：12月2日（土）

いずれも13時30分から15時30分まで

・会 場：2階 第1研修室

かたおか ひろおみ

・講 師：片岡 博臣 氏

（山口版画の会 事務局長）

・定 員：各回20名程度（要申込・先着順）

・対 象：一般（小学4年生以上）

※小学生は保護者同伴。

*お申し込み状況については、下記連絡先
までご確認ください。

・問い合わせ先

山口図書館

企画・連携グループ

TEL：083-924-2115



ミニコラム

●4代目館長と山口県文書館

昭和34年4月1日、公立のものとしては日本初の文書館である「山口県文書館」が設置されました。山口県文書館の創設には、山口図書館4代目館長の鈴木賢祐が深く関わっています。

戦後日本には欧米のアーカイヴズ（公文書館）に相当する施設の設置例がなかったため、当初は全く手探りの状態でした。昭和32年、鈴木館長は図書館職員と社会教育課職員を構成員とした「県文書館の構想を話し合う会」（仮称）を組織し、文書館に関する外国文献の翻訳などを行いました。また、鈴木館長や図書館職員の渡辺秀忠は、自らも文書館に関する論文を発表しました。

こうした彼らの活動により、文書館の果たすべき社会的役割や機能が明確化され、山口県の文書館設置運動が理論づけられたのでした。

資料展示

●2階 資料展示コーナー

期間：9月30日（土）～11月29日（水）

「山口県立山口図書館の歴史 第2部」

●2階 ふるさとやまぐち文学ギャラリー

期間：9月1日（金）～12月27日（水）

「山口県文学のお宝資料」

お知らせ

●次回最終号！

次回の図書館ニュース Vol.10 は、12月3日（日）に発行予定です。最終号では、半年間にわたって実施した記念事業を振り返ります。

最後までぜひご覧ください！

Q

ご活用ください！ レファレンスサービス

A

山口図書館があなたの調べものをお手伝いします

山口図書館では、80万冊の資料と、職員のノウハウを駆使して、皆さまの調べものをお手伝いします。どうぞご利用ください。

レファレンスサービスとは？

皆さまから寄せられたさまざまな質問に、司書が図書館の資料を調査して、無料で回答します。

図書館資料・データベースなど、確実な情報源に基づいて回答します。

日常生活や仕事の課題、山口県に関すること、読書相談など、さまざまなことならお答えします。（病気の診断や法律相談など、専門知識が必要な事柄については回答を差し控えることがあります。）

電話やお手紙、当館のウェブサイトからも受け付けます。

調べものに役立つリーフレット を配布しています

あるテーマで調べものをするときに、最初に手に取ったらよい本や、調べ方のコツなどをまとめたリーフレット「調べ方案内」を無料配布しています。館内や、当館ウェブサイトで公開しています。

～ 主な調べ方案内 ～

山口県の郷土料理を調べる
(改訂版)



写真で見る山口県
(地域・風景編)

先祖について調べる
(武士編)



中原中也について調べる

こんな質問に回答しました

山口図書館では、毎年、1,000件以上のお問合せに回答しています。回答の一部については、個人情報に配慮した上で、“レファレンス協同データベース”（国立国会図書館）で公開しています。

～ これまでの質問・回答の例 ～

1. 獅子舞か、お神楽の折り紙（できれば立体的なもの）の折り方が載っている資料はないか。



2. 木戸孝允（桂小五郎）の花押が掲載されている資料はないか。

3. 山口では、日本で初めてクリスマスが祝われたとされるが、その記録がみたい。

